

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年10月27日

事業所名:ONE SKY 対象人数(保護者)45人 回答者数 34人 回収 75.6%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・行事よって過密状態になってしまうため、活動内容を工夫するなど配慮しています。	・人が多いか狭いなどの話は息子から一度も聞いてません。 ・デスクワークには丁度よいが、レクリエーションをするには少し狭いスペースである気がする。 ・見に行ったことないのでわからないです。	・法令を遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の適切な配置	・配置数が適切になるよう、勤務状況に応じてその都度考え、配置しています。	・配置数は満たしていても、任せられる先生が少ない。 ・先生の専門性も大事だが人間性も向上して欲しい。 ・帰宅して宿題や問題集で指導していただいた回答に間違いが時々ある。 ・配置数の基準は知らないのでもちろんとれないが、専門性については、しっかりと子どもにとって必要な事を考えたり、共有したりして工夫などしてくれているので、安心して預けている。	・適切な人員配置を行っていますが、送迎などで人員が少なくなることもあるため、人員を増やしていき。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・その日の利用者様の状況に応じて、その都度工夫し、改善を行っている。	・事業所内の様子が記憶に無くわからない。 ・一度しか訪れていないので、覚えておりません。 ・Q1と同様。	・保護者様及び相談支援専門員や他の事業所の方の意見を聞き環境を整備していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日清掃・消毒を行い、清潔な空間を保てるよう徹底している。	記載なし はい:14 いいえ:1 どちらでもない:19	・今後も快適に過ごしていただけるように、清潔な空間を保っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・日頃の療育を振り返り反省し、改善につながるよう話し合いの場を設けている。		・今後も振り返りを行い、改善が出来るところは改善に努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。		・必要に応じて、その都度実施していきたいと考えております。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・事業所内での開催の他に、外部への研修にも積極的に参加する機会を設けています。		・今後も研修の情報を職員に周知し、参加の機会を確保していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者の方から聞き取りを行い、それを元に作成をさせて頂いております。	・自宅で取り組むには親の姿勢も大事だが、子どものペースを理解して声掛け、実施に取り組んでくださっている先生の後押しも必要である。 ・とくに計画作成書などはありません。	・今後も常に利用児童及びその保護者の立場に立って、効果的な支援を行うように心掛けていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別での支援・集団での支援を項目に入れて作成しております。	記載なし はい:29 いいえ:1 どちらでもない:4	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	記載なし はい:29 いいえ:1 どちらでもない:4	・今後も原案作成後、職員間で会議を行い、適切な支援内容を作っていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援に関して、個別支援計画通りに全職員で確認し実施しております。	記載なし はい:29 いいえ:1 どちらでもない:4	・今後も職員間で確認を徹底し、支援計画に沿った適切な支援を行っていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・毎月、療育内容の立案・作成をしています。	記載なし はい:31 いいえ:0 どちらでもない:3	・今後も多くの人と関わりを持てるようにし、様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるように活動プログラムを考えていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・療育時間が違いますので、日々利用者様が見通しをしやすいように工夫しております。	記載なし はい:31 いいえ:0 どちらでもない:3	・休日、長期休暇においては、外出活動など平日では取り組むことができない体験活動に積極的に取り組んでいきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動プログラムが同じにならないように、職員間でプログラムを検討し、変化をつけて行っております。	・長期休暇に限らず、どの子も2~3月1回ペースでイベントもありだと思う。(例:曜日別イベント) ・この夏休みの課外体験学習を企画してくれていることなど、工夫されている。	・今後も子ども達の放課後生活の充実に向けての活動内容の工夫をしていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・役割分担の打ち合わせを必ず実施し、その都度確認するようにしています。		・今後も事前の確認を行い、役割分担をしていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援で成功した点や工夫が必要な点などを職員間で意見を出し合い、次回の支援につなげています。		・今後も職員間で共有をしっかりと行っています。
	10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・保護者様との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。		・今後もより密に保護者様、各関係機関と連携を取り、よりよい支援につなげていきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っております。		・今後も定期的に見直しを行っていきます。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・毎月、代表・管理者による会議を開催し、連携を図っております。		・今後も定期的に会議の場を設けていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、地域・学校とその都度連携を図っております。		・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、協力医療機関への相談や主治医の確認は行っていますが、コロナの状況もあり医療機関との連携が少なかつたと思えます。		・今後も必要に応じて、医療機関と連携を図っていきます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	・主に児童発達支援管理者・代表・管理者で行っております。		・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・卒業生になる子がいませんでしたが、連携は行っております。		・卒業後の進路の選択肢が増えるよう関係各所に赴き多くの連携を図っていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。		・今後も職員全員に研修の情報を共有し、積極的に参加するように伝えていきます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会を提供	・今年度は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、交流を持つ機会はありませんでした。	・お祭りの参加などをしているので、いいと思う。 ・Q1と同様。	・新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、地域との交流を図っていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。	はい:12 いいえ:2 どちらでもない:20 記載なし	・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。
			はい:12 いいえ:2 どちらでもない:20	
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約の際に説明しております。また、支援内容に関しては日々の連絡帳やラインを使い、行っております。	・利用開始後の利用者負担等の説明不足は感じた。 ・請求書の子供に預けるだけで、説明がなく戸惑った。 ・先生から丁寧な説明を受け、理解できた。 ・請求書の書式が変わり分かりやすくなったが、口頭での説明は必要だと思う。	・今後はより丁寧な説明を心掛けていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・児童発達支援管理者が主に説明を行い、ご理解を頂けるようにしております。	記載なし	・今後も丁寧な説明を心掛け、保護者様と一緒によりよい支援計画を作成していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	・新型コロナの関係で実施出来ませんでした。	記載なし	・新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ開催していきたいと思えます。また、職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるよう研修の機会を設けていきます。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	記載なし	・今後も日頃から丁寧な説明を心掛けていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	・きっちりした面談は年一回だが、送迎の際に求めればお話をさせてもらっている。	・今後も希望に応じて相談を受け付け、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在、保護者会はありませんが、今後作る予定となっております。	・保護者同士の連携は特に求めていません。 ・Q1と同様。 ・あっても仕事の都合で出れないとおもいますが、	・定期的に事業所の保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携を支援していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	はい:5 いいえ:13 どちらでもない:16 ・苦情を言ったことがないので分からない。 ・特に問題がないので、不明。 ・苦情がないのでわからない。	・今後もいただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	・子どもへ直接お迎えの時間を伝えて、覚えておける工夫をお願いしたい。	・送迎時間に関しては、保護者様とお子様にお伝えしていき、時間の管理が出来るように支援をしていきたいと思えます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・HUGを通して行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。	・活動概要を毎回もらっているのいいと思うが、HUGの中で利用日が確定すると、その他の予定が見る事が出来なくなるので、利用不可日があった場合に振り替えの依頼がしにくい。	・今後、システムの担当者と予定確定後も確認できるようにならないか相談させていただきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。	記載なし	・今後も個人情報につきまして、研修等を行い、情報漏洩がないように徹底してまいります。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各マニュアルを作っており、職員間で周知徹底しております。	・見たことがない。	・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布致します。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。	記載なし	・今後も定期的に災害を想定した避難訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。		・社内研修の他に外部研修への参加をしていき、職員間での共有をしていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず説明と了解を受けてからの実施を致します。		・身体拘束は行っていませんが、活動について子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に子どもや保護者様に説明し了承を得ています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。		・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。		・今後も随時共有を徹底していき安全に事業運営を行ってまいります。

◎自由記述による意見

- ・毎回とても楽しみにしています。
- ・その日の息子のバイオリズムによって当日欠席もありますが、翌日の息子の様子にまでご配慮いただき有難く思います。
- ・勉強が嫌らしいのでこれからもよろしく願います。
- ・時間にルーズなところがあり送迎をおまかせしている場合があります、申し訳ありません。
- ・今現在、色々やって頂いているので満足です。
- ・兄弟も一緒に参加できるプログラムを検討して欲しい。
- ・今はとにかく受験勉強への取り組みなので満足しています。
- ・予定の立て方、記録の仕方、大人になって人との約束等を忘れずにやっていける方法を身に付けさせてほしいです。5分でいいので個別対応の時間に組み込んでいただけると助かります。
- ・ウイスクのテスト等、事業所で受けられるようにして欲しい。病院で受けるには親も平日休みが数回必要になってくるので。(3回来て欲しいと言われた)